【教育委員会議事録】令和6年10月定例会

開催日時	令和6年10月28日(月) 9:30~10:10
開催場所	下関市教育センター 3階中研修室
出席委員の氏名	磯部 芳規(教育長) 小田 耕一(教育長職務代理者) 吉村 邦彦 佐々木 猛 畚野 美香子
欠席委員の氏名	欠席なし
委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名	教育部長 藤田 信夫 教育部理事(教育部次長) 和田 英一 教育部理事(教育部次長) 藤井 信幸 学校教育専門監 木下 満明 教育部次長(教育政策課長) 門田 重雄 学校教育課長 大坪 勇一 教育指導監(生徒指導推進室長) 中尾 琢磨 教育研修課長 浦野 建太 学校支援課長 栗原 武 教育部次長(学校保健給食課長) 山本 泰造 生涯学習課長 岡田 清弘 教育部参事(文化財保護課長) 濱崎 真二 教育部次長(中央図書館長) 江原 理恵 美術館長 岡本 正康 歴史博物館長 古城 春樹 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム館長 松下 孝幸 下関商業高等学校事務長 三原 達郎 教育部参事(菊川教育支所長) 藤永 知明 教育部参事(豊田教育支所長) 河崎 昌文 教育部理事(豊浦教育支所長) 嶋津 敏弘 教育部参事(豊北教育支所長) 熊井 一雄 教育政策課長補佐 吉岡 孝二 教育政策課主任 吉富 守夫 教育政策課主事 森 由希
傍聴人の数	傍聴人 1名

次第（目次）

【開会の宣告】	P3
【署名委員の指名】	P3
【教育長報告】	P4
【議案】	
《非公開》	
第49号 指定管理者の指定について	P13
【報告事項】	
令和6年度子ども文化パスポート事業の集計結果について.....	P5
中・高校生等駅周辺学習スペース提供事業における利用状況について.....	P8
重要文化財旧下関英国領事館の開館時間の変更について.....	P10
下関市子どもの読書活動推進会議委員の選任並びに会長及び副会長の指名について.....	P11
【その他】	P12
【閉会の宣告】	P16

【開会の宣告】

磯部芳規（教育長）

皆さん、おはようございます。

それでは、教育委員会10月定例会を開会いたします。

教育長及び在任委員の過半数が出席しておりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により、会議の定足数を満たしていることを報告いたします。

【署名委員の指名】

磯部芳規（教育長）

本日の議事録の署名は、吉村委員、佐々木委員をお願いいたします。

（はい。（署名委員））

磯部芳規（教育長）

本日の日程は、日程1の議案が1件、日程2の報告が4件、日程3その他となっております。

この日程に関連して、最初に委員の皆さんにお諮りいたします。

「議案第49号 指定管理者の指定について」は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書の規定により、会議を公開しないこととしたいと存じますが、委員の皆様、よろしいでしょうか。

（はい。（全員））

磯部芳規（教育長）

それでは非公開とし、議事録についても、当面の間、非公開といたしたいと存じますが、委員の皆様、よろしいでしょうか。

（はい。（全員））

磯部芳規（教育長）

また、非公開とすることといたしました議案等については、日程3その他が終わった後に協議を行うことといたしたいと存じます。委員の皆様、よろしいでしょうか。

（はい。（全員））

磯部芳規（教育長）

それではそのように進めてまいりたいと思います。

傍聴者の皆様方には、非公開となりました議案の審議の際にはご退出いただくこととなりますが、予めご了承ください。よろしくお願いいたします。

【教育長報告】

磯部芳規（教育長）

それでは議案に入る前に教育長報告をいたします。お手元の資料を見ていただけたらと思います。

10月でございます。まず、ご報告ですが、23日は名古屋市立八幡中学校、そして、24日は岐阜市立草潤中学校の視察を教育委員の皆さんと伺いました。八幡中学校では、チーム担任制などを楽しく、また独創的な学校づくりを、校長の強いリーダーシップのもと展開されていらっしゃるということで大変参考になりました。チーム担任制等の新しい取組もされておりました。教育委員会としても、これは市内の中学校長会で伝えようと思います。しかしながらこの取組につきましては、私も、ちょうど7年前に文洋中学校長時代に取り入れた方法でございましたし、また、生徒に企画させる行事づくりをはじめとする学校づくりの説明もありました。こちら市内の学校、すでにもういろいろな学校でやっております。私も勝山中学校長時代に、この方法をやりまして、当時NHKや教育評論家の尾木さんに取り上げられたということもありましたので、ちょっと懐かしく、また、嬉しく聞いておりました。このような子供たちが楽しくなるような取組については、また校長会等にも伝えていきたいなというふうに思っております。また、24日に草潤中学校に行きましたが、こちらは今、下関市でも多様化学校について取組を進めているところでございますので、こちらに活かしていきたいと思います。特に年間770時間の授業数のカリキュラムの作り方などを聞きました。こちらについても参考にしたいと思いますし、何よりは図書室であるとか、音楽スペースですかね、こちらの作り方などは大変参考になるのではないかなというふうに思いましたので、また、下関市でも検討したいと考えております。

そのほか、10月は中国地区都市教育長会がありました。17、18日と米子市に行きました。ここではですね、中国地区の各都市の教育施策をお聞きすることができましたが、不登校への対応や施策については、下関市はとても充実しているのではないかなというふうに率直な感想を持ちました。現在進めている多様化学校はもちろんですけれども、校内外の支援教室、また、特別支援教育支援員の充実、これらは下関市は、大変取り組まれているなというふうに嬉しく思っておりますし、また子供たちの現状に目を向けた施策というのは、これからもまたどんどんしっかりと進めていきたいなというふうに考えました。

また、10月はですね、土日を見ていただいたら、大変多くの行事が開催されていますけれども、今市内の小学校中学校、特に小学校では150周年の式典等も行われておりま

す。10月は吉母小学校、室津小学校に行きましたし、また下関商業高等学校におきましては140周年ということで記念式典等も行われております。

また、地域の文化祭は、今、真っ盛りでございます。こちらにも行っております。たくさんの方々が喜ばれている姿があり、大変うれしく思います。懐かしい人との出会いもあっていろいろなお話を聞かせていただいております。ただ、地域の方からよくお話をお聞きする反面ですね、せっかくなので、この機会に公民館の関係者の方からいろいろな、不具合の面とか不備な面とかについても、直接聞けるチャンスでもありますので、私の方で、またこの辺は活かしていきたいなというふうに考えております。

さらに10月1日は豊北歴史民俗資料館運営協議会であるとか、4日下関市立歴史博物館特別展開会式であるとか、26日は下関市芸術文化祭開幕式がありました。これらにつきまして、各館とも今年は特に進めておりますが、下関市の子供たちとにかく、下関市の各館の楽しさを味わってほしいなと思っておりますので、こちらについても、学校に伝えていきたいなというふうに思っております。

最後に25日にわくわく教師塾を行っております。100回目となりました。これは教育研修課を中心として、手づくりの研修会でございます。特に今回は今の若者の考え方に照準をあてて見るということで、参加者が中学生から大学生また先生に保護者など思ったよりたくさんの方々が来られて、びっくりしてございましたけれども、思いのほか好評でございました。現役の日本代表の女性の方を呼んで懇談会みたいな形で行いましたけれども、直接ですね、こういう若者の声を聞くというような会というのは、講演会形式もいいんですけども、今の若者の声を直接聞くということは、現況を感じるうえでは、一番響く話にもなるのかなあと思いつつ、またこういう会ができればやってみたいなと少し思いました。

ただいまの教育長報告で何かご質問ありますでしょうか。

(ありません。(全員))

磯部芳規 (教育長)

それでは、日程2の報告事項に入ります。

【報告事項】

令和6年度子ども文化パスポート事業の集計結果について

磯部芳規 (教育長)

「令和6年度子ども文化パスポート事業の集計結果について」教育政策課、門田部次長お願いします。

門田重雄 (教育部次長 (教育政策課長))

教育政策課、門田です。よろしく申し上げます。

資料は2ページになります。

「令和6年度子ども文化パスポート事業の集計結果について」ご報告いたします。

令和6年度子ども文化パスポート事業につきましては、7月19日から9月1日までの45日間、施設数は本市19、北九州市35、長門市8、直方市2、豊前市1、中間市1、宮若市3、芦屋町2、水巻町2、岡垣町3、遠賀町1、苅田町1の合計78施設を対象として実施いたしました。このうち市内19施設のパスポート利用者数につきまして集計をいたしましたのでご報告いたします。なお事業全体の集計につきましては、事務局の北九州市がまだ現在集計中ということで手元に数字はございません。

今年度の下関市内の施設でのパスポート利用者は1,528人で、前年度の夏の利用者数2,377人と比べますと849人の減少が見られました。表の一番下になります。

各施設の利用者数は、特に海響館と長府庭園が減少傾向にあります。全体の入場者数も205,048人と前年度から5,766人と減少しているところでございます。

海響館の減少につきましては、昨年度は金額の割引、今回は実施せずにプレゼントという形にしております。また、長府庭園につきましては、昨年度は100円を無料としておりましたのを、今回はノベルティの配布という形にしております。そのほか、全体パスポートの中であげると、パスポートの入手方法を今回変えたということで、6月の教育委員会定例会でご報告をしましたが、新たな取組として事業案内のチラシやパスポートを、昨年度までは直接配布しておりましたが、北九州市のウェブサイトの方から対象者みずから入手してもらうことといたしました。ホームページ、地域情報サイト「しもしも」及びきらめきネットコムを活用し広報いたしました。周知方法が変更となりましたのでここが大きなものだと考えております。

今後につきましては、事務局の北九州市に引き続きしていただくような形で調整をしておりますけれども、来年度の手法も、今年度同様というところで今協議を進めているところでございます。引き続き、北九州市その他関係市と連携いたしまして、広報方法の改善や事業の効率化に取り組んでいき、一層利用していただけるような手法に取り組んでいきたいというふうに考えております。報告は以上です。

磯部芳規（教育長）

では、ご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。吉村委員、お願いします。

吉村邦彦（教育委員）

ご報告ありがとうございました。

これはぜひ、子供たちのためにも続けていただきたいなというふうに思っています。その中で、今ご報告のあったところでマイナスの大きなところの要因というのは、金額を提供するというのは、非常にインパクトが大きいのだなというふうなことがわかったと思います。

逆にですね、利用者数が増えているところ、例えば、しものせき環境みらい館とかです

ね、豊田湖畔公園とか、正直、何かこう、市民の皆さんに対してアプローチできるものって意外にこういう施設には少ないのかなと思うんですけども、逆に来館者が増え、利用者が増えているって、何かいい要因があるのかなというふうに思いますし、こういうベストプラクティスっていうか、そういうのも1つ吸収していきながら、ほかの施設の方に波及させるということも必要なことかなと思いますのでよろしく願いいたします。

磯部芳規（教育長）

ほかにご質問ございますか。佐々木委員、お願いいたします。

佐々木猛（教育委員）

ご説明ありがとうございます。

一番最後の反省のところでもあったかと思うんですけども、パスポートの入手方法のところでございます。やはりこれは、事務局が北九州ということもあるので、なかなか難しいことではあるかとは思いますが、いかに改善し、また、いかにこの事業をやっていることを多くの方に周知できるのかっていうところも1つポイントになるのかなと思います。

例えば下関で言うならば、Webサイトから入手していただくってところを、チラシにして子供たちに配布するとか、何らかの方法で考えてよりよい、より広く行けるように考えていただけたらと思います。よろしくお願いします。

磯部芳規（教育長）

畚野委員、お願いいたします。

畚野美香子（教育委員）

ご説明どうもありがとうございました。

親からした時に、この事業とても大変ありがたい取組でいつも感謝しております。

今回、Webからということで、やはり親っていうのがすごく忙しい状態で、子供の世話をしたり、仕事をしながら、子供が休みの時、どこに連れて行こうかなって、考えたときに、やはり手元にあるものであったり、Webで検索しやすいものであったり、パッと目につくものというので選ぶことが多いです。なので、ぜひ目につくような形でPRしていただくということも、ちょっと重点的にしてもらったらいいのかなと思いました。ありがとうございます。

磯部芳規（教育長）

よろしいでしょうか。

（はい。（全員））

磯部芳規（教育長）

では、本件については報告済みといたします。

【報告事項】

中・高校生等駅周辺学習スペース提供事業における利用状況について

磯部芳規（教育長）

続きまして、「中・高校生等駅周辺学習スペース提供事業における利用状況について」生涯学習課、岡田課長をお願いします。

岡田清弘（生涯学習課長）

生涯学習課の岡田です。よろしくをお願いします。

「中・高校生等駅周辺学習スペース提供事業における利用状況について」ご報告いたします。資料の3ページをご覧ください。

8月17日（土）に大丸下関店5階に開設しました、中・高校生等駅周辺学習スペース（以下「エキスタ」）と言いますが、開設から9月30日までの利用実績についてご説明いたします。

ご利用された方は延べ3,553人で、1日当たり平均80人を超える方にご利用いただきました。ご利用者の内訳でございますが中学生357人、1日当たり平均が8.4人、高校生2,303人、1日当たり平均53.6人、一般、その他が893人、1日当たり平均20.8人となっております。ご利用者の約6割以上が高校生のご利用となっております。

アンケートの回答の状況、内容についてご説明します。9月末までに、エキスタをご利用いただいた方の3,553人の内、631人、17.8%の方からアンケートにご回答いただきました。

エキスタ利用者の感想としては、とても良い、良いと回答された方が514人で全体の約8割を超える方から良いとご回答いただいております。

エキスタをまた利用したいと答えた方が、強く思う、思うを合わせて574人、90%以上の方から、また利用したいとご回答いただいております。

反面、エキスタ利用に対して、悪い、とても悪いとご回答いただいた方が21人、エキスタをまた利用したいかで、あまり思わない、思わないが28人いらっしゃいました。

自由意見としましては、「肯定的な意見」としまして、「図書館やカフェで勉強していたので嬉しい。」、「大丸に来るきっかけができて駅前が賑わう。」、「遅い時間まで開いているのがありがたい。」、「友だちと教え合い、相談しながら勉強できる」などがございました。

「否定的な意見」といたしましては、「相反する施設を同フロアにするのはいかがなものか。」、「中・高校生に限定した方が良い。」、「音（隣接する施設／放送の音）がうるさい。」などがございました。

「改善を望む意見」といたしましては、「ご飯を食べられるようにしてほしい。」、「自動販売機やウォーターサーバーを設置してほしい。」、「カフェを隣接してほしい。」、「各席に照明がほしい。」、「個人スペースを増設してほしい。」、「進学・就職向けの情報提供をしてほしい。」、「コピー機を設置してほしい。」、「座席を増やしてほしい。」などがございました。

利用者の皆さんからいただいたご意見については、対応可能なものについては、なるべく早く対応したいと考えておりますが、対応が難しいものもございますので、大丸下関店とも協議しながら、利用しやすい施設になるよう努めてまいりたいと考えています。

以上、簡単ではございますが、ご報告いたします。

磯部芳規（教育長）

ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。吉村委員、お願いいたします。

吉村邦彦（教育委員）

ご報告ありがとうございます。

大体、実態がわかりましたし、私自身も週に数回、利用はしていませんけれども、確認をさせていただいています。

あと、学生さんと話す中で、やはりこういう改善要望もそうなんですけれども、なかなかその施設との兼ね合いとか、金銭的な問題もあると思うのですが、ほとんどの人がやっぱりWi-Fiというか、パソコンの使い勝手というか、Wi-Fiが非常に脆弱だと。大丸下関店のフリーWi-Fiを利用していると言うんですけども、なかなか、あまり使い勝手が良くないというふうなことを言っている方が非常に多いです。それは改善要望の中には載っていないんですけども、ぜひその辺りでもですね、今もうノートパソコンを広げて勉強しているという子がほとんどなので、iPadとか携帯ですね。だからこのあたりの環境整備というのも1つ考えていただければなというふうに思います。以上です。

磯部芳規（教育長）

ほかにごございませんでしょうか。畚野委員、よろしくお願いいたします。

畚野美香子（教育委員）

ご説明どうもありがとうございます。

内容を聞いて何度か現場に確認に行きました。この改善要望の「ご飯を食べれるように」、「カフェを隣接して欲しい」など、あればいろいろ便利だなあという節はあります。

確かに要望にあるようにあれば便利ではありますが、一般の方も利用されているようなので、どこまでを広げるかというのがちょっと難しいところだとは思いますが。ただ学習スペースという事業をされる目的や対象を、もう一度振り返っていただいて、施策を整えていただけたらと思います。

また吉村委員の方からもありましたが、最近の子供たちというのが、どうしてもパソコンと教科書とそれからノート、これを3つも広げて学習しているという子が、今最近多く

見られるようです。ですからやはりWi-Fiですよね。その辺の拡大、そこを広げるとまた、一般の方々がどういうふうに使っていくのかっていうのもちょっと心配事もありますが、そこをちょっと考えていただきながら進めていただけたらと思います。お願いします。ありがとうございます。

磯部芳規（教育長）

ほかにございますでしょうか。

（ありません。（全員））

磯部芳規（教育長）

では、ないようでございます。本件については報告済みといたします。

【報告事項】

重要文化財旧下関英国領事館の開館時間の変更について

磯部芳規（教育長）

続きまして、「重要文化財旧下関英国領事館の開館時間の変更について」文化財保護課、濱崎参事お願いいたします。

濱崎真二（教育部参事（文化財保護課長））

文化財保護課でございます。

「重要文化財旧下関英国領事館の開館時間の変更について」ご報告いたします。

資料4ページをご覧ください。また関連チラシを席上の方に配付させていただいておりますのでこちらもご参照ください。

重要文化財旧下関英国領事館の設置等に関する条例第6条第1項におきまして、開館時間を午前9時から午後5時までと定めております。また、第6条第2項におきまして、前項の規定にかかわらず、教育委員会は必要があると認めるときは、前項の開館時間または供用時間を変更することができるものと規定してございます。

11月16日（土）及び17日（日）の両日は、旧下関英国領事館指定管理者が参加する、関門海峡キャンドルナイト下関2024が開催されます。関門海峡キャンドルナイト実行委員会が主催する関門海峡キャンドルナイトは、毎年11月に関門海峡両岸で開催される夜間イベントで、両側の諸施設とともに旧英国領事館を含む多くの日本遺産構成文化財をキャンドルで装飾し、周遊を促すことにより、日本遺産関門ノスタルジック海峡の絶好のPRの機会となることから、関門海峡日本遺産協議会も共催してございます。当イベントは、唐戸商店会他、近隣施設及び対岸の門司港と連携して実施する地域のにぎわいと潤いを醸成するのが目的の取組であり、旧下関英国領事館の開館時間の延長は、重要文化財建造物としての領事館の学術的価値の普及と、地域のにぎわい創出に寄与することが期

待されます。このことから開館時間を午後9時まで延長するものでございます。
以上報告いたします。

磯部芳規（教育長）

ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

（ありません。（全員））

磯部芳規（教育長）

ないようでございます。本件については報告済みといたします。

【報告事項】

下関市子どもの読書活動推進会議委員の選任並びに会長及び副会長の指名について

磯部芳規（教育長）

続きまして、「下関市子どもの読書活動推進会議委員の選任並びに会長及び副会長の指名について」中央図書館、江原部次長お願いいたします。

江原理恵（教育部次長（中央図書館長））

中央図書館です。よろしく申し上げます。

「下関市子ども読書活動推進会議委員の選任並びに会長及び副会長の指名について」ご報告します。資料の5ページをお願いします。

この会議は、主に下関市子どもの読書活動推進計画の効果的な取組に関して、意見を聴取するために要綱により設置したものです。その委員の任期が令和6年9月30日をもって満了したため、委員6名を新たに選任しました。

資料の6ページをお願いします。委員名簿です。委員は6名とも再任となります。委員の任期は令和6年10月1日から令和8年9月30日までの2年間です。また、委員の選任に合わせ、下関市子どもの読書活動推進会議設置要綱第6条第1項の規定に基づき、会長に永島昭雄様を、副会長に高野泰裕様を指名しました。説明は以上です。

磯部芳規（教育長）

ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

（ありません。（全員））

磯部芳規（教育長）

ないようでございます。本件については報告済みといたします。

【その他】

磯部芳規（教育長）

では、日程3その他に入りますが、中央図書館より7月の教育委員会定例会で吉村委員より質問のあった蔵書点検の状況について報告があります。中央図書館、江原部次長よろしくお願ひします。

江原理恵（教育部次長（中央図書館長））

中央図書館です。令和6年9月28日（土）、29日（日）及び10月1日（火）に、中央図書館が臨時休館した際に行った蔵書点検の結果を報告します。

点検対象資料は44万6,918点で、今回の不明資料は30点ありました。それにより、累計不明資料は335点になりました。除籍方針により、蔵書点検で2回以上所在不明であった資料は除籍を今後検討していきます。説明は以上となります。

磯部芳規（教育長）

ご質問、ご意見ございますでしょうか。吉村委員、お願ひいたします。

吉村邦彦（教育委員）

ありがとうございます。

この数字が許容範囲とされるのかというのはわかりませんが、借りられた方の意識の問題もあると思うんですけども、ぜひ、管理体制はきちっとしていただきたいのと、あとは、この44万6,000点に関しては、今後、管理運営をよろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

磯部芳規（教育長）

続いてですが、文化財保護課より報告があります。よろしくお願ひいたします。

濱崎真二（教育部参事（文化財保護課長））

その他の事項についてお知らせをいたします。

席上に配付させていただきましたカラー刷りA3、2つ折りのチラシをご覧ください。

鳥取県の呼びかけにより全国の個性豊かな弥生時代の遺跡が連携し、各遺跡への来訪と周遊を促し来訪者の弥生時代に対する理解を深めてもらうため、弥生の御朱印巡りと称した企画が運用されております。

このたび本市に所在する西日本最大規模の弥生時代前期集落、綾羅木郷遺跡及びその関連施設である下関市立考古博物館がこの企画に参加することとなりました。

令和6年10月30日より全国の主要な35の弥生時代遺跡と38の関連施設と連携しオリジナルの弥生の御朱印の押印を開始するものです。

本市におきましては、すでに土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムが参画しておりますが、考古博物館の参画を契機に今後ますますの集客と、稲作を中心とする現在の我が国の現風景といえる弥生時代に対する意識啓発、地域間の交流促進に寄与できればと考えてございます。以上でございます。

磯部芳規（教育長）

では、ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

（ありません。（全員））

磯部芳規（教育長）

その他、何かございますでしょうか。

（ありません。（全員））

磯部芳規（教育長）

ないようでございます。では、次回の日程でございますが、11月の教育委員会定例会は、11月27日（水）午前9時30分、下関市教育センター3階中研修室にて開催の予定でございます。委員の皆さんよろしいでしょうか。

（はい。（全員））

《非公開部分の始まり》

【議案審議】

議案第49号 指定管理者の指定について

磯部芳規（教育長）

それでは、ここから非公開案件に入ります。傍聴者の皆様、最初にお話いたしました、本日、これからの議案審議等につきましては、非公開とする旨、決定しております。皆様には大変恐縮ではございますが、ご退室をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

では、日程1の議案審議に入ります。議案第49号「指定管理者の指定について」生涯学習課、岡田課長お願いいたします。

岡田清弘（生涯学習課長）

生涯学習課でございます。よろしくお願い致します。

議案第49号「指定管理者の指定について」ご説明いたします。別冊①の資料1ページをご覧ください。

このたび、下関市生涯学習プラザ及び下関市立中央図書館の指定管理者が令和6年度をもって満了するため、令和7年度から5年間の指定管理者を指定する議案を12月議会上程するため、教育委員会に議案として提出するものでございます。

議案の内容につきましては、2ページの議案の説明資料に沿ってご説明いたします。

まず、1. 選定の概要につきまして(1)施設の概要についてです。対象施設は下関市生涯学習プラザ及び下関市立中央図書館でございます。中央図書館につきましては運営は直営で行っておりますが、中央図書館の維持管理に関する業務は下関市生涯学習プラザと一体的に施設の管理を行っているため、指定管理の対象施設として定義しているものでございます。(2)指定期間は令和7年4月1日から令和12年3月31日までの5年間です。(3)指定管理候補者は、公益財団法人下関市文化振興財団です。(4)募集の概要ですが、今回の選定から公募により募集を行いました。申し込み団体はこの1団体のみとなっております。

2. 選定までの経緯につきましては8月16日に公募を行い、9月17日までの募集期間といたしました。10月9日に下関市指定管理候補者選定委員会(生涯学習プラザ)以下、選定委員会とありますが、選定委員会からの答申を受け10月15日をもって下関市教育委員会として指定管理候補者を選定いたしました。

3. 選定方法につきましては、学識経験者や経営に関する有識者等から構成されます。

4. 選定委員会を9月25日に開催し、応募者から提出された事業計画書、収支計画書、応募団体の経営状況を説明する資料等、そして、応募団体のプレゼンテーション等により総合的に審議された結果、応募団体を指定管理候補者として適当と認めると教育委員会に答申されました。

教育委員会は、その意見及び選定の基準を総合的に審査し、当該団体を指定管理候補者として選定しました。

5. 選定基準の概要につきましては(1)審査項目が別紙1として4ページから5ページに掲載の47の項目でございます。詳細な説明は省略とさせていただきますが、いずれも市のガイドラインに準じて設定しているものでございます。また、(2)最低制限基準として委員1人当たり100点満点で採点し、各委員の合計が250点以上と設定いたしました。

3ページに戻りまして、6. 選定委員会の審査結果につきましては(1)採点結果の通り合計463点、平均点92.6点で最低制限基準を上回っております。(2)主な意見につきましては、6ページの別紙2のとおりでございます。詳細な説明は省略とさせていただきますが、いずれも肯定的なご意見をいただいております。

続きまして、7. 指定管理候補者からの提案の概要は(1)主な提案の内容として、別紙3の7ページから8ページになっております。表の評価項目は、別紙1の括弧書きの項目と対応しており、各項目に対応した、指定管理候補者による提案の概要について記載しております。(2)指定管理料については5年間の平均、1年当たりで1億5,015万7,400円で、5年間の合計額は7億5,078万7,000円となっております。

以上、指定管理者の指定についてご説明いたしました。

ご審議の程よろしくお願いいたします。

磯部芳規（教育長）

ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。吉村委員、お願いいたします。

吉村邦彦（教育委員）

ご説明ありがとうございます。

入札1者だけということ、少し内容に関してご説明いただきたいのと、私のちょっと思ったことを述べさせていただきます。

選定基準の概要の中に、採点の合計が250点以上であるというのが基準ですけれども、合計点が463点ということで非常に高い点数になってます。これは基準が甘すぎるのか、運営が素晴らしいのかというふうなことを、多分、どちらもあると思いますけれども、我々のできることはやはりこの基準、この差が大きいということは基準をもう1回見直すというか、もう一度検証したほうがいいのかというふうな気もします。ですからこの463点という高い点数を取っていただいているということは、それだけいろいろなことに取り組んでいらっしゃるわけですから、もう、そのあたりまで基準を上げていってもいいのかなというふうに思います。それが1点。

あとそれからですね、各委員の点数のばらつきですね、100点から78点もあるというのは、先ほど肯定的な意見が多いとはおっしゃっていましたが、やはりその意見のばらつきも含めて、あと視点の違いとかですね、強弱というふうなこともあると思うんですが、この辺りもですね、どちらが正しいかということと言えないと思うんですが、中身をきちっと精査していくべきじゃないかなというふうに思っています。

それから最後に、やはり年間1億5,000万、月にすれば1,000万円以上、経費というかここで税金が使われているわけですから、やはりこの指定管理者の方々には、商売としてやっていらっしゃるわけですから、しかも市の顔である生涯学習プラザ、中央図書館であるわけですから、そこは挨拶とかもう基本的なことに関してはきちっとやはり、もう一度確認をしていただきたいのと、その基準を、今以上に上げていただけたらいいのではないかなというふうに思っています。

以上です。

磯部芳規（教育長）

はい、生涯学習課、岡田課長。

岡田清弘（生涯学習課長）

今、吉村委員からご意見をいただきましたので、次回に関しては、そういった意見を取り入れながら、基準を上げたりといった形で対応したいと思っております。

磯部芳規（教育長）

ほかにご質問、ご意見ございませんでしょうか。

(ありません。(全員))

磯部芳規 (教育長)

では、議案第49号については、承認としてよろしいでしょうか。

(はい。(全員))

磯部芳規 (教育長)

では、承認といたします。

《非公開部分終わり》

【閉会の宣告】

磯部芳規 (教育長)

それでは、これで本日の議事がすべて終了いたしましたので、これで定例会を終了といたします。どうもありがとうございました。

(お疲れ様でした。(全員))

署名

教育長

署名委員

署名委員

作成職員